

松雲大師の書について取材する韓国MBCの孔在成報道局長（右）ら＝熊本市の本妙寺



韓国TV局本妙寺を撮影

文禄・慶長の役で加藤清正らと和平交渉にあたった韓国の僧・松雲大師のテレビドキュメント番組を制作している同国の放送局MBC（大邱市）が31日、熊本市花園の本妙寺を撮影で訪れた。

大師は、清正の相談役だった同寺の初代住職・日真上人と和平交渉で会谈を重ね、互いの信頼を深めたといわれる。同寺は、大師が日真上人にあてた書4点を所蔵している。

取材スタッフに加え、

文禄・慶長の役 和平交渉の経緯取材

大師にゆかりのある韓国の寺の僧も来日。「生まれた国も姿形も違うけれど、同じ仏門の人間として腹を割って話そう」などと漢字でしたためられた書が所蔵された経緯などを、池上正示副住職に尋ねた。

孔在成報道局長（51）は「日本と韓国の間には教科書や竹島の問題もあるが、両国の僧同士が心を交わした歴史を伝え、友好ムードを醸成したい」と話していた。番組は大師没後400年を記念した約1時間番組で、10月上旬に韓国全域で放送される。（内海正樹）